

子規亭

道後寄席

新

日本の青春

博子規'09

第一夜



9月27日(日) 人は言葉でできている

イツセー尾形

(役者)

第二夜



10月17日(土) 明治文学事始

高橋源一郎

(作家)

第三夜



11月15日(日) ああ言えばこう言う

宮本信子

(伊丹十三記念館館長)

(お相手・天野祐吉)

第四夜



12月5日(土) 芝居講談「マダム貞奴」

神田紅

(演談師)

第五夜



2月19日(金) 当夜のおたのしみ

立川志の輔

(落語家)

【席亭口上】

皆様今年もまた「新・道後寄席」の季節が参りました。今年には「日本の青春」をテーマといたしました。明治という時代は新情報、新文化、新しい価値観の混乱のきわみの時代、言い換えれば「日本の青春」時代でした。明治の青年たちはその時代の中を未来へと駆け抜けました。考えてみますと二十一世紀の今の時代も似通ったところが多々ありそうです。

今年の出演者は、まず、イツセー尾形さん、立川志の輔さんのお二方、皆様方の熱いアンコールの声にお応えしてのご登場です。作家の高橋源一郎さんは「坊っちゃん文学賞」の審査員、明治をめぐる楽しいお話のあれこれをきかせていただけそうです。宮本信子さんは俳優、ジャズ歌手として活躍、そしてもちろん伊丹十三記念館の館長として松山にひとかたならぬ愛を感じてくださった方です。講談師の神田紅さんには、世界に羽ばたいた川上貞奴(マダム貞奴)を語っていただきます。今年も多彩で豪華な顔ぶれでお贈りいたします。

「新・道後寄席」の木戸をくぐれば、非日常の世界、楽しいひと時をお過ごしください。
竹田美喜

- ◆ 主催 / 松山市立子規記念博物館友の会
- ◆ 共催 / 松山市・松山市教育委員会
- ◆ 会場 / 松山市立子規記念博物館 4階講堂
- ◆ 時間 / 開場午後6時 開演午後6時半
- ◆ 木戸銭 / 通し券 15000円(消費税込)
- ◆ 一夜券 3500円(消費税込)

◆ チケット購入方法

8月8日(土)から子規博友の会(↓階事務所)及び、いよつ高島屋・松山三越友の会・フジグラン松山にて販売します。
※チケットが無くなり次第、販売終了となります

◆ 問い合わせ先

松山市立子規記念博物館友の会「新・道後寄席」係
松山市道後公園1-30
TEL (089) 93115566
FAX (089) 93413416

新・道後寄席でお会いしましょう(50音順)

一六本舗・伊予銀行・愛媛銀行・愛媛信用金庫・玉泉堂本舗・清酒 仁喜多津
山田屋まんじゅう・大和屋本店